

# 菅内閣総理大臣による日本学術会議会員任命拒否に強く抗議し 推薦者全員の即時任命を求める声明

2020年10月10日

大阪市立大学教職員労働組合

大阪市立大学教職員労働組合は、大学という公的な高等教育研究機関に働く教職員の労働組合として、菅内閣総理大臣が第25期日本学術会議会員の任命にあたって、日本学術会議が推薦した105名の候補者のうち6名の任命を何ら明確な理由を明示することなく拒否したことは、日本国憲法が定める学問の自由への明白な侵害であるとして、強く抗議する。

今回の任命拒否は、学問の自由にもとづき政府から独立した学術団体として日本学術会議を設置した「日本学術会議法」の逸脱、首相による任命権の恣意的な運用であり、国内全分野の科学者を国内外に代表する学術機関への人事を通じた事実上の介入の試みと言わざるをえない。これは、日本学術会議の独立性を損なうものであるだけでなく、政府や政治による干渉・介入からの学術研究の自由を保障する憲法23条が保障する学問の自由に対する重大な侵害にほかならない。

自由で独立した研究・教育環境が保障されることによりその役割をはじめて全うできる大学に働くわたしたちは、今回の決定に強く抗議し、推薦者全員の即時任命を要求する。